

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「避難」

10月12日、歴史にのこる大型台風により、郡山市でも大きな被害があり、自然の破壊力、気候変動のこわさを、わが身として感じました。毎年あるかもしれない災害から、命をまもるのは、「早めの避難」と言われています。

でも、それがむずかしいのは、

「ここは大丈夫…とか、まだ大丈夫…とか」自分を安心させてしまうから…だそうです。高齢者になるほど、そう思いやすいのは、(今までそんな事なかった…)という経験上からだそうです。では、どうすれば…たとえば、他の地域の災害のニュースが映った時に、他人事ではなく…わが事として、

「こんな時は、〇〇に避難…」

「こんな時は、〇〇さんと一緒に避難…」

「こんな時は、親に早めの避難の電話…」、家や近所で話し合うのも、ミニ防災訓練かも。

10月12日と25日の夜、区長さんの判断で、離れた避難所まで行けない人のため…、ピーク時一時不安な人のため…に、栃山神集会所の鍵があげられ、本当にありがたいことでした。

区長の安藤さん…昼夜…ご苦労さまでした。

二瀬中学校・秋桜祭

歴代のシンボルマークが、体育館にかかげられてて…最後…感が。

学習発表・職場体験発表・作文発表・長崎派遣発表・合唱…と続いた後、校庭で、ドローンでの記念撮影。

校庭には、大きな「二瀬中」の文字、それを全員で囲んで手をふった。

正面奥に蓬田岳、なんだか山なみにも、サヨナラしているよう…。

三年生男子Y君の発表から、

「二瀬中がなくなるという事は、高校に入学した後、先輩たちのように、中学校に遊びに来る事ができない…という事です」と。

うんうん…ピカピカの高校の制服姿で行っていた。でも、皆さんの晴れ姿を、別の所でも、待ってて

くれる人はいるから…だから、目標の高校にむかって頑張る。

孫が学習発表会のピアノを練習…
ピーピーと、とても元気がいい。何の曲？
「ふるさと…」ン？うさぎおいし…じゃないの？
「ちがうよ…有名な曲…知らないの？」知らないよ～。
「嵐の曲だよ…私は、2番がすきな」と。
作詞家ってすごいな…8歳の心にとどく詩を…。

「嵐・ふるさと」 2番のサビ～

雨ふる日があるから虹が出る
苦しみぬくから強くなる
進む道も夢の地図も すべては心の中にある
助け合える友との思い出を
いつまでも大切にしたい
進む道も夢の地図も それはふるさと



栃の実発表会・フィナーレ 「ふるさと」